

口頭発表：新バージョン「JMP 17」でデータ分析を効率的に ～ 新機能の概要とメリットについて ～ (増川)
セッション時にチャットボックスに頂いたご質問と回答

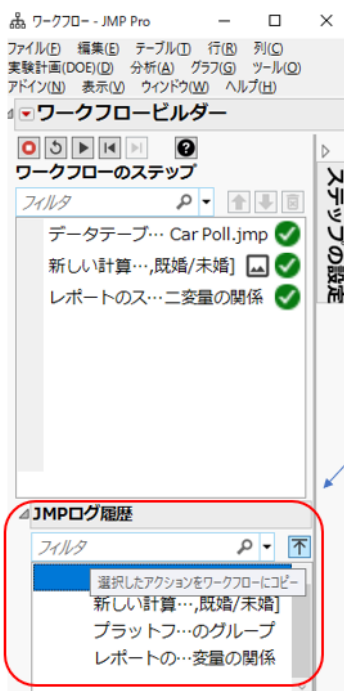
■ワークフロービルダーについての質問

Q1. JMP17 搭載されるワークフローと、JMP16 以前より搭載されているプロジェクトやログとの違いについて、補足説明頂けると幸いです。

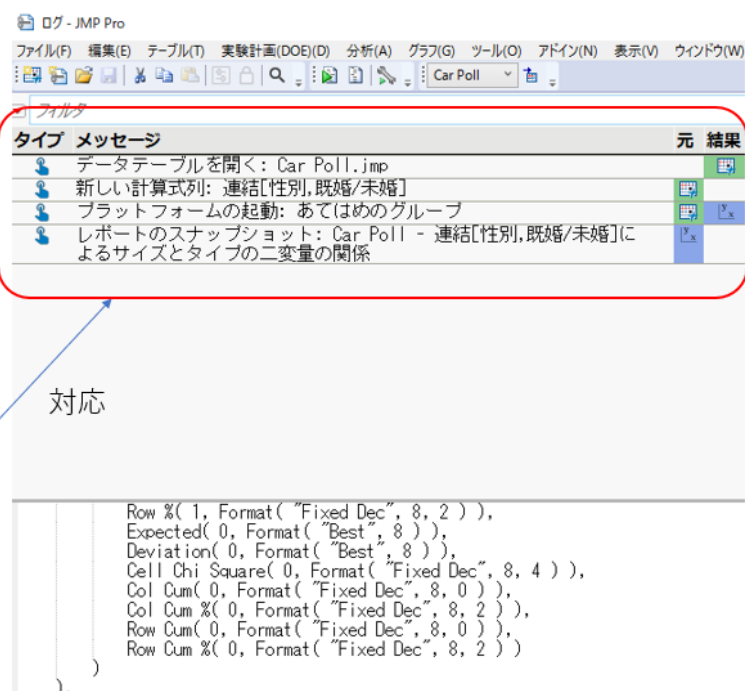
A1. JMP 17 のワークフロービルダーと比較される機能として、JMP 16 で追加された拡張ログ([表示]>[ログ]で表示)が挙げられますが、この機能を大きく拡張させたのがワークフロービルダーとお考えください。ワークフロービルダーでは記録ボタンを使って、その後の操作をステップに記録しておくことができ、それらのステップを編集できる、記録したものの再実行、他のユーザとの共有ができるところは大きな拡張点です。

JMP の操作(データ開く、分析、保存など)の多くは、ログファイルにスクリプト(JSL)形式で保存されます。このログは拡張ログで確認できます。JMP 17 のワークフロービルダーでは、同様のものが「JMP ログ履歴」に保存されます。ログ履歴に記載されたログは、選択して↑ボタンをクリックすることにより、ワークフロービルダーのステップに追加できます。

ワークフロービルダー (JMP 17)



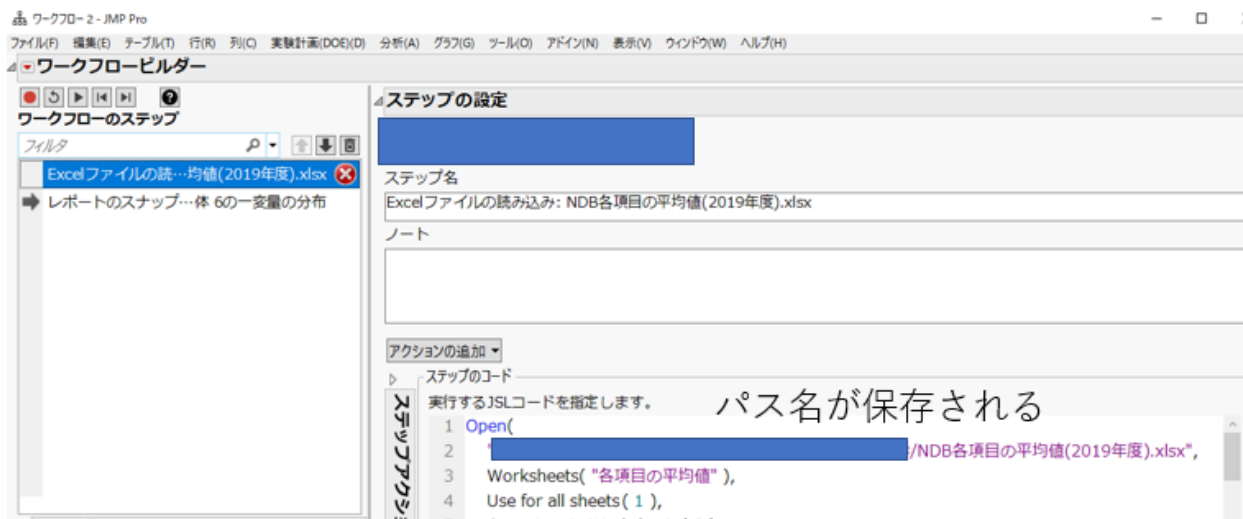
拡張ログ (JMP 16～)



Q2. 読み込んだエクセルや jmpflow ファイルの保存場所を変えた際に、この自動化ファイルはエラー無く動くのでしょうか。また、エラーが出る際はどのように対処すればよろしいでしょうか。

A2. 読み込んだ Excel ファイルの保存場所を変えた際、ワークフロービルダーを実行するとエラーが発生します。読み込んだファイルの絶対パス名がステップのコードとして保存されることが理由になります。

ワークフローのステップについては、ステップのコード(JSL)を参照できます。ここでは、開いた Excel ファイルの絶対パスが保存されています。再度、ワークフローでそのステップを実行する際、その場所に Excel ファイルがなければエラーになります。対処方法として、移動した Excel ファイルの場所に合うように、パスを編集していただくことになります。



または、「ワークフローパッケージの作成」オプションで、Excel ファイル(データソース)が含まれるワークフローパッケージとして保存する方法も考えられます。

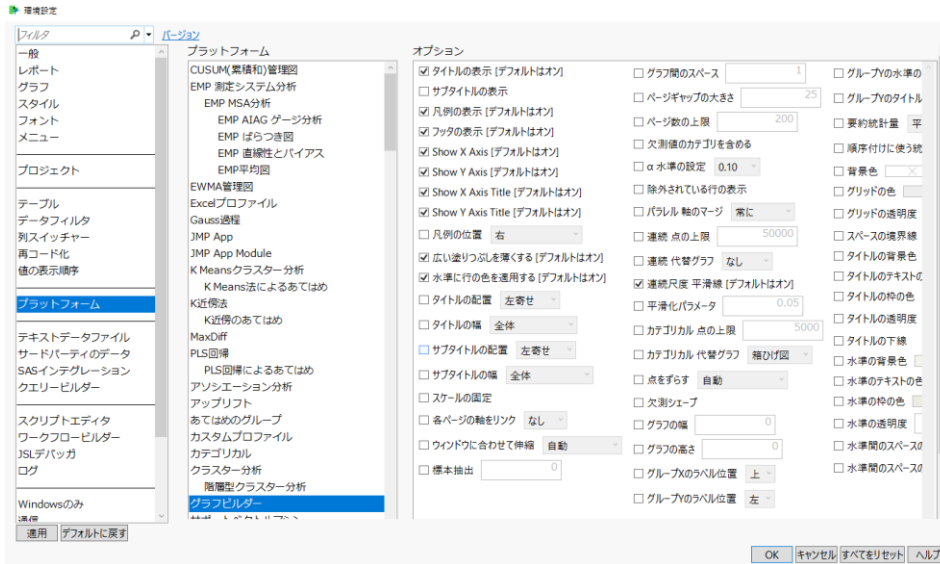
Q3. jmpflow ファイルは作成途中で、保存できますか。一度作成した jmpflow ファイルに新たな処理を加えることはできますか。

A3. どちらも可能です。一度 jmpflow 形式で保存し、別の時にそのファイルを開きワークフローに処理を追加することができます。

■プラットフォームのオプションを環境設定に保存する機能についての質問

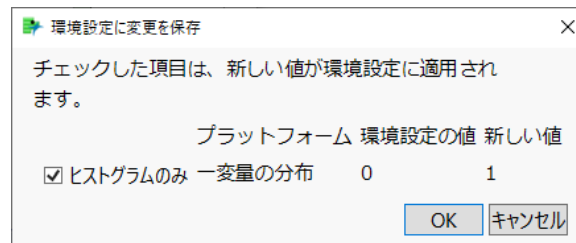
Q4. グラフビルダーでも環境設定機能はあるでしょうか？

A4. ございます。グラフビルダーの左上にある赤い三角ボタンから「プラットフォーム環境設定」を選択し、確認できます。



Q5. 環境保存は1変数であれば変数指定時画面の下にある「ヒストグラムのみ」のチェックも保存されるのでしょうか？

A5. 保存されます。保存すると、次回、[一変量の分布]を起動したとき、最初から「ヒストグラムのみ」にチェックを入った状態になります。

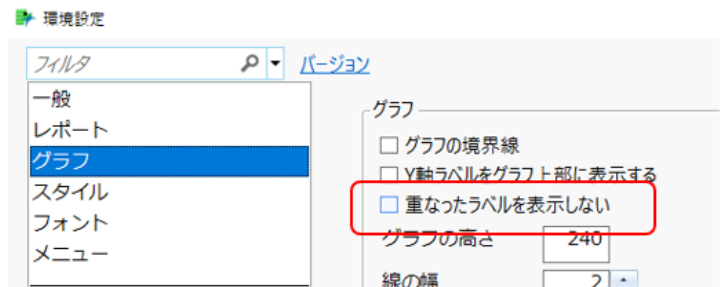


■分析、グラフ機能についての質問

Q6. 偏相関の機能は多重共線性(逆行列が求まらない)がある場合はどのように処理しているのでしょうか？また、対角にあるラベル名が長いと全部が表示されないのですが、対応方法はあるのでしょうか？

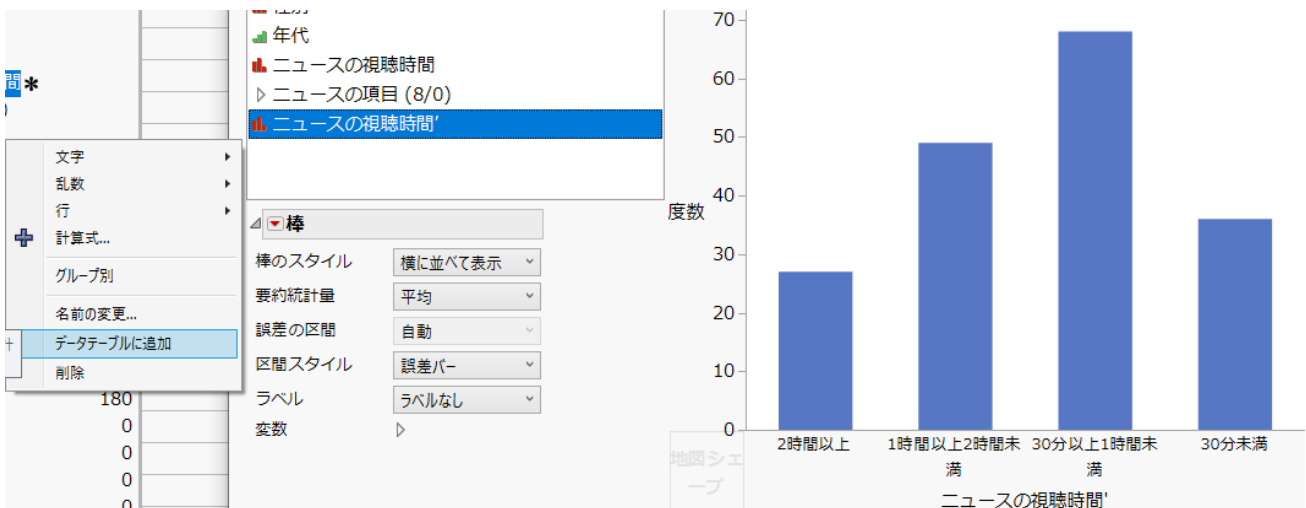
A6. ご記載の通り、偏相関行列は相関係数行列の逆行列をもとに算出できますが、行列の要素となる値は、重回帰分析における重相関係数(R2乗)から計算されます。JMPではR2乗が1となる時(共線性が最も強いとき)、要素は無限大になりますので、そのときのみ偏相関行列の要素は欠測値として表示されます。欠測となる列(変数)があった場合、偏相関図ではその列は図上に表示しない仕様となっております。

ラベル名につきまして考えられる対処方法としてはフォントを小さくするか、ラベル自体が表示されないのであれば、[ファイル] > [環境設定]を開き、下図のように、「重なったラベルを表示しない」のチェックを外すことをお試しください。



Q7. グラフビルダーで結合したカテゴリデータはテーブルに反映できるのでしょうか？

A7. 反映することができます。結合すると、「(列名)′」というように、列名の最後にアポストロフィーがついた仮想的な列が作成されます。下図の例では、「ニュースの視聴時間′」という名前になっていますが、この列を右クリックし、[データテーブルに追加]を指定すると、データテーブルに新しい列として追加されます。



Q8. JMP17 ではローカルデータフィルタの機能も強化されたと考えてよろしいでしょうか。たとえばインタラクティブ HTML で出力したものでも機能するようになってきたでしょうか(JMP15 では出力はされたけれども不完全で、JMP16 では機能自体が止められていたように思います)。

A8. JMP 17 では、ローカルデータフィルタに対して主だった機能強化はございません。インタラクティブ HTML に対しては、JMP 17 でも動作はいたしません。一方、JMP Live では、インタラクティブ HTML でローカルデータフィルタをかける機能がございます。

■JMP Live について、ライセンスに関する質問

Q9. JMP Live のデータ保存先は、社内ネットワーク上の任意のサーバーや、PC に保存できるのでしょうか。また、レスポンスは、閲覧 PC の性能に影響されますか。レスポンスに影響する因子について教えてください。

A9. オンプレミスでの利用を想定されるのであれば、ご利用組織のサーバー上にインストールすることになりますので、その中にデータやレポート等が保存されます。保存されたデータやレポートは、PC 上の JMP でデータテーブルやプロジェクト形式で開く機能がございます。レスポンスについて一概に言えないこともありますが、ネットワーク環境や扱うデータの量等が影響すると考えられます。JMP Live の導入をご検討されるのであれば、事前に製品を評価することができますので、その際は弊社までご連絡ください。

Q10. サイトライセンスで利用していますが jmp17 へのバージョン UP の方法を教えてください。

A10. サイト管理者の方から、下記のページよりリクエストをお願いいたします。

[JMP 17 の入手方法 | JMP.](#)

Q11. とてもよい機能拡張がなされているため、17.0 から社内でパイロット導入しようと思っておりますが、マニュアルまで完全日本語化対応した JMP17 バージョンのリリース予定時期はいつごろになりますか(見通しで結構です)。JMP16 までは xx.2 でしたが、17 でも xx.2 での対応の見通しでしょうか。

A11. 本発表の最後にご案内をしましたが、JMP 17.2 のメンテナンスアップデートでマニュアル、ヘルプが日本語化され、来年の夏から秋のタイミングでのリリースを予定しております。(リリースの予定は今後変更される可能性もございます。)